

がん哲学の花

— 一般社団法人「がん哲学外来」関西支部ニュースレター 第34号 —

発行日：2016年12月15日

■□■2013年7月に一般社団法人がん哲学外来が設立されて以来、「がん哲学外来」以外のテーマでのシンポジウム開催は初めてだと思います。本号では、社団の取り組みをご紹介します。■□■

「がん就労支援セミナー」を開催して

一般社団法人がん哲学外来 理事・事務局長 多喜義彦

「がん哲学外来」の理事・事務局長を務めております、多喜です。

社団の設立から3年、事務局長として社団を運営する中で、“がん患者さんの就労問題”を耳にし、これは大きな問題であると、日に日に強く感じるようになりました。働く人はもちろんのこと、会社経営者でもある私にとっても、社員が病によって働きにくくなる、あるいは離職してしまうことは大きな問題であり、当社団の事務局長として、課題を与えられた気がいたしました。そうしたことから、まず雇用側の理解を深めていただくため、去る11月8日、「がん就労支援セミナー」を開催しました。今日はその会のご報告をしたいと思います。樋野先生による開会の挨拶から始まり、プログラム内容は以下の通りです。

■プログラム-----

講演1 「がん患者を取りまく就労に関する問題と課題」

がん研究会有明病院 がん相談支援センター がん看護専門看護師／花出正美氏

講演2 「医療現場のがん就労支援」

福井県済生会病院 集学的がん診療センター長／宗本義則氏

講演3 「就労支援に役立つ制度とその活用」

三輪社労士オフィス代表 社会保険労務士／三輪公二氏

トークセッション 「がんと向き合い優しく寄り添う働き方」 /モデレーター：多喜義彦

登壇者：甲斐幹敏氏（がん研究会 COO）、花出正美氏、宗本義則氏、三輪公二氏、伊藤優子氏（サバイバー）、鈴木聡氏（石巻赤十字病院）

看護師の花田さんは、職場で多くの患者さんを支援して来られた中で、現状の問題点を数多くつまびらかにしてくださり、頼れる施設や役立つ資料をたくさんご紹介頂きました。次に登壇された医師の宗本先生ですが、「医師自らが患者さんの就労支援を支援すべき」との理念を持っておられ、ご自身が行った、地元の労働局やハローワークをも巻き込んだ就労支援事業の数々の事例をご紹介頂きました。次に、三輪先生は、社会保険労務士として多くの就労問題に対応してこられた経験から、会社側が抱える悩みについても切り込み、がん患者の就労問題について改善可能な観点を多くご紹介いただきました。続くトークセッションでは、サバイバーの伊藤さんや飛び入りで石巻赤十字病院副院長の鈴木先生にもご参加いただき、支援する者とされる者双方にて意見交換を行いました。いずれも、この問題について皆が意識を高め、情報共有できたことは、これからがん患者さんの就労支援を行っていく当社団にとって、大きな一歩だと感じています。



『you more カフェ』開設と私の夢

がん哲学外来『you more カフェ』 原田理恵子

この度、南大阪の富田林という地で、がん哲学外来『you more カフェ』を開設させていただく事になりました、原田理恵子と申します。東先生のこのニュースレターの愛読者の方々の中にもお会いさせて頂いたことのある方がおられると思います。

私は、一昨年、念願であった『がん哲学外来エリザベートカフェ』を開設しました。1年半活動してみて、いろんな御縁を頂き、自身にとっても大変実りのある経験をさせて頂きました。日々、勉強です。その中で、カフェに参加して下さっていた方、何人かの仲間達が、実際にカフェを開設される運びとなり、今年一番の運びになりました。

樋野先生が、いつも言われている『全国に7000カ所のカフェを』という言葉は、私の夢でもあります。ならば、とまた御縁が広がり、2件目のがん哲学外来カフェの開設に繋がりました。個人で活動している方の中では、数件を並行して開催されている例は少ないと思いますが、各カフェ月1回の開催、『・・・にもかかわらずやる』を実践しようと思います。いまやメディアにも頻繁に取り上げられる様になっているのに、まだまだ『がん哲学外来って初めて聞きました』と言われることも多いです。私が、この素晴らしい活動を知った以上は、もっと多くの方たちに発信していく使命があると考えていますので、必要とされている方の為の器づくりの職人になり、中身はみなさんに作っていただく。に徹したいと思います。

いつも協力して下さっているピアノサロンエリザベートの稲垣様、賛同して下さった『たくみ鍼灸整骨院』の皆様、この場をおかりして心から感謝いたします。『エリザベートカフェ』は音楽をとおしての癒しがテーマですが、『you more カフェ』では、カフェ中に人工温泉『空海』足浴体験をしながら語り合うという新たな試みもあり、器づくりは humor をもって楽しくワクワク。みなさんに、身体も心もあたたためて頂きたいと思っております。

『人』と『人』との御縁はどこにあるか本当にわかりません。ただ、夢をもって、・・・にもかかわらず思い続け、やる事が、今の私の夢です。皆様との御縁、新たな御縁を楽しみにしております。



ご挨拶 ～編集後記に代えて～

一般社団法人がん哲学外来関西支部長
大阪がん哲学外来メディカルカフェあずまや
あずま在宅医療クリニック
東 英子



このたび、一身上の都合により、2016年12月31日付で、一般社団法人がん哲学外来関西支部長の任を退く決意をし、辞表を提出させていただきました。一般社団法人がん哲学外来関西支部ニュースレター「がん哲学の花」も本号をもって一旦終了になります。2014年3月7日に関西支部が発足し、その月から3年弱、ご愛顧いただきましたこと、また、多くの方にご寄稿いただきましたことに心から感謝申し上げます。

肩書きがなくても、大阪がん哲学外来メディカルカフェあずまやの活動は継続していきますし、「がん哲学の花」に代わるものも、何か発信できればとおぼろげに考えております。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

一般社団法人「がん哲学外来」関西支部の website の URL です。各カフェのスケジュールや連絡先を掲載していますが、東の辞任に伴い、更新が終了します。カフェの連絡先はご確認いただけます。

<http://azuma-clinic.wix.com/cancer-philosophy>

今後のカフェ情報は、一般社団法人がん哲学外来の website でご確認ください。

<http://www.gantetsugaku.org/>